

## 令和4年度第2回文化財保護審議会 議事録

### 第2回文化財保護審議会

◆日時 令和5年1月20日（金）13時30分から

◆場所 舞鶴市西総合会館 201会議室

◆出席委員 伊庭 節子委員、瓜生 勝朗委員、加藤 晃委員、坂根 章委員、  
長谷川 達委員、稗田 洋子委員、廣瀬 邦彦委員、松尾 象空委員

（※リモート参加）並木 誠士委員 計9人

◆事務局等 舞鶴市文化スポーツ室 三方 理江室長、文化振興課 松本 達也担当課長、  
松崎 健太、荒井 誠、森 香那子

1. 令和4年度文化財指定について（諮問）  
三方文化スポーツ室長から加藤会長へ諮問

2. 協議事項

- ◆「吉原水無月神社絵馬」の文化財指定について
- ◆「赤岩山天然スギ林」の文化財指定について
- ◆「アンジャ島出土乳棒状蛤刃石斧」の文化財指定について

#### 【事務局】

- 水無月神社絵馬（有形民俗文化財）は、令和2年度に京都女子大学による吉原地区の街並み景観調査の際に存在が明らかになったもの。調書は丹後郷土資料館の稲穂技師が作成。「水無月神社」は市内に複数あること、市指定文化財「喜多御山神社絵馬群」の名称と合わせて「吉原水無月神社絵馬群」という指定名称とした。明治の大火で区内の多くが消失した吉原において、それ以前の時代の貴重な資料、とりわけ、漁師町として栄えた吉原における人々の暮らしや信仰について残っている貴重な資料である。
- 赤岩山天然スギ林（天然記念物）京都府立大学の高原特任教授のもと、3度調査を実施した。枝ぶりや密集した生え方などが天然スギの特徴を示している。調査として、スギの自生する箇所を地図上に落とし込んだ。また30×50メートルメッシュで区切り、幹回りの計測や、範囲内の植物の植生調査を行っている。次年度に亘り、2年間の調査で指定に向けた情報を整える。
- アンジャ島出土乳棒状蛤刃石斧（考古資料）平成30年に京都府暫定登録文化財に登録されている。アンジャ島で造成工事の際に不時発見。工事中に出土した縄文土器をもとに時期を推定しているが、同様の石斧の出土について全国で類例がなく、指定に向けて詳細な調査を行える資料が整っていない状況であり、全国的な研究が進んでから

指定に向けた調査に取り組む。

【委員の主な意見】

- 水無月神社は大火の影響をうけなかったのか。⇒被災しなかった（事務局）
- スギ林は宮津市側にも生えているのか。⇒生えているが、市指定文化財のため、指定及び調査は舞鶴市区域のものを行う（事務局）
- 天然スギ林の生える区域は登山道もあり、天然記念物指定されることで、見に来る人が増えることは地元地区も期待している。
- 市の文化財とはいえ、広域のスギ林の舞鶴市側のみを調査するのはどうなのか。⇒京都府レッドデータブックの更新に係る調査も行われており、付近全体のスギ林の様子は京都府において把握されるものと考えている（事務局）
- スギ1本1本を区別して把握するのか⇒地図に1本ずつ落とし込んであるため把握はする。一覧表になるのかどうかについては、天然記念物指定に向けて必要な方法で整理する（事務局）
- 天然スギは1本でも貴重か、林として広域に生えていることが貴重なのか。また、指定は「スギ林」として指定するのか。⇒巨木として自生するものは点在するが、古くから自生している環境が残り、林として残っていることが貴重、スギ林として、範囲で指定する（瓜生委員、事務局）

### 3. 報告事項

- 令和4年度両丹文化財保護連絡協議会（令和4年11月30日実施）について  
令和4年度両丹文化財保護連絡協議会について、事務局及び広瀬委員が参加。平成16年台風23号における三日市自治会保管文書の文化財レスキューの事例について報告。
- 文化財防火デーに伴う防火訓練の実施について  
文化財防火デーに伴う防火訓練が1月22日に東地区は興禅寺、西地区は桂林寺において実施される。

### 4. その他

- 文化財保存活用地域計画講座  
2・3月に市文化振興課において、歴史文化遺産に係る講座を実施。

【委員の主な意見】

- 文化財保存活用地域計画について、どのような取り組みが行われているのか。今後の見込みなどが文化財保護審議会に情報が入ってこない。⇒地域計画懇話会が別に存在しているが、長期的には文化財保護審議会とより密接になるよう取り組みたい（事務局）
- 郷土資料館について、ネット環境が整っていない。京都府立大などと協働で、文化資料をネット上で共有する取り組みを進めているが、取り組みの行われている郷土資料

館にネット環境がないのは問題。⇒昨年度、郷土資料館受付に LAN ケーブルを延伸した。引き続き、タブレットを用いた小中学生の社会科見学等も含め、実現できるよう強く要望をしていく（事務局）

- 市教育委員会において、社会科副読本を更新した。生徒へのタブレット配備もあり、バーコードを読み取ると祭礼の動画が見られるようにした⇒その効果か、郷土資料館に子ども達からの問い合わせが増えていると聞いている（事務局）

以上